

3 交通安全教育や意識高揚のためにどのようなことを行っていますか。

| | 記 述 内 容 |
|---------|---|
| 全市的な活動 | 「旗の波」運動参加 街頭啓発運動への参加 |
| 職 域 | ポスター掲示 冊子の回覧 注意事項文書配信 教職員及び児童に対する交通安全への指導 交通安全教室の実施や日常の交通安全指導 交通違反、事故防止の宣誓に職員全員が署名し、職員室に掲示 月に一度の安全会議の実施、交通安全の告知（掲示、LINEなどに注意喚起） 交通ヒヤリマップの作成、朝礼等での安全呼びかけ、会社安全衛生管理計画に掲載 年間4回の交通安全運動時期にあわせて交通安全社内教育を行なっている 児童生徒に対する交通安全指導、教職員に対する事故防止、違反防止の研修の実施。 滝川警察署の交通課より講師を招き高齢者の交通事故状況や運転状況との研修を受講。 輸送の安全に関する目標及び年間指導教育計画を策定し、乗務員に対する指導・監督を実施。 交通安全講話、自転車シミュレータによる模擬体験 交通安全運動の時期に啓蒙啓発を行なっている。 所属長から交通安全に対する呼びかけ（朝礼時） 定期的な職員に対する通知による啓発 安全運転者協議会研修会など 定期的に管理職から啓蒙のために服務規律について指導している 連休前の安全運転の呼びかけ（特に飲酒運転禁止） 交通安全講習（職場主催）ほか チャレンジセーフティーラリーへの参加 年4回の教育集会、日々の点呼にて交通安全の呼びかけ他 オースス（※1）を用いて安全衛生水準を上げ継続的な改善に取り組んでいます。 交通安全テスト（毎月） 運転前後の車両点検 制限速度の遵守、交通ルール、マナーを守る。 |
| 地 域・団 体 | 交通安全旗の設置、町内会だよりにて注意喚起 こどもへの交差点での注意喚起等 市役所くらし支援課から老人クラブへの講話とスライド。 通学路の見守りをしている。 団体に警察署に来ていただいた。黄色い羽根。家族の会、募金。 滝川警察交通安全課に依頼して高齢者の交通指導や高齢者の事故状況等の講習。 令和2年度警察署交通課署員による講話。自動車学校、警察署の協力により、コース内で運転実務講話。 青色回転灯巡回 |
| 学 校 | 交通事故をスタントマンさん達が目の前で再現する授業が行われている。 生徒会ボランティア |
| 家 庭 | 散歩などの際の交通安全教育 新聞、テレビ等で目にすると家族で話す。 事故についてはいつも話すようにしている。日常での危険回避の話は大事。 |

（※1）労働安全衛生に対するリスクと対策の一覧化及び責任所在の明確化等を目的とする規格

4 自動車運転者の交通マナーについて悪いと思う理由。

| | 記 述 内 容 |
|------------|---|
| 走行中 | <p>スピードが結構出ている。場所によっては危険だなと感じる場面も稀にある。</p> <p>一時停止線を越えて停車する車が大多数、歩行者や自転車とぶつかる危険がある。</p> <p>方向指示器を点灯させずに曲がる。右（左）折る際に逆方向である左（右）側に大きく膨らむ。一方通行を無視する。</p> <p>黄色信号でも止まらない</p> <p>窓からのゴミやタバコ等のポイ捨て、携帯電話を使用しての走行。</p> <p>特に女性（若い）の運転が横柄又年配者の運転手を見たら気を付ける。</p> <p>2車線ではない広い道路での左側からの追い越し。</p> <p>騒音をたてて運転している人もいる。</p> <p>スピード超過 車間近距離走行 夕暮れ時の無灯火</p> <p>赤信号でも前の車について右左折する車が多い気がする。</p> <p>朝の出勤時は、車の数も増え渋滞気味で運転が荒く感じます。日中は普通。</p> <p>ウィンカーを出す前にブレーキをかける運転者が多い</p> <p>中央線よりの走行。一時停止・曖昧な止まり方</p> <p>歩行者を優先していない</p> <p>他の運転手をもう少し気遣う運転をする人が増えればいいと考える。</p> <p>減速時にスマホを確認しているのが見えたから</p> <p>夜間の大きな排気音（バイク、車）も感じるので取り締まりや指導が少し必要である。</p> <p>左右の確認を行わず飛び出してくることがあった</p> <p>急な車線変更や一時停止を無視している車両を見かけるため</p> <p>右・左折時の幅寄せ等がない。（免許取得時教習されたはず）</p> <p>高齢者（特に女性）ドライバーが全く周りを見ていない。</p> <p>官庁通りを法定速度以上で走行する車両。</p> |
| 交差点等 | <p>交差点への侵入速度、自転車乗っていて怖い。</p> <p>横断歩道で信号待ちをしていた歩行者が歩き出したにもかかわらず、自車の走行を優先して左折。</p> <p>横断歩道を渡ろうとしている歩行者がいても止まらない車が多い。</p> |
| 駐車（駐車場含む。） | <p>商業施設などの駐車場に集団で屯している事例が散見されるため。</p> <p>駐車禁止場所の駐車が目立つ</p> <p>大型店駐車場内での勝手な走行</p> |
| その他 | <p>教習所での指導が徹底されていないから</p> |

7 交通違反をしたことがありますか。

| | 記 述 内 容 |
|-----|---------------------|
| その他 | <p>シートベルト装着義務違反</p> |

8 どのようにしたら自動車運転者の交通マナーが良くなると思いますか。

| | 記 述 内 容 |
|-----|---|
| その他 | <p>罰則の強化</p> <p>高齢者の免許更新の基準を厳しくしたほうが良い</p> <p>免許証の年齢制限を設ける(上限)</p> <p>個々が思いやりの気持ちを持つこと</p> <p>ゴールド免許や違反無し期間の年数によって、買い物ポイント等の制度。本人確認のためのカード等の充実。</p> <p>ゴールド免許保持者には、軽微な速度違反などを数回免除する。</p> <p>北海道警察の交通安全教育車「ほくと号」などによる、ドライブシミュレーター</p> <p>自動運転導入</p> <p>市民通報制の導入、監視カメラの設置</p> <p>判断能力が失われる高齢者の免許更新を医師などの診断書付きにする。</p> <p>職場や日常での運転注意喚起</p> <p>免許更新時期が延びていることもあり、その時期以外の教育機会も必要と考える。</p> <p>高齢者免許返納</p> <p>一人一人の自覚、飲酒運転。</p> <p>マナーを守ったことで免許の更新代、保険料が安くなるなど対価があると良い。</p> <p>家族での交通安全意識の向上。</p> <p>賞金制度</p> |

9 運転免許の返納は、いつするのが良いと思いますか。

| | 記 述 内 容 |
|-----|---|
| その他 | <p>70歳から認知症検査を自動車学校・病院(精神科)で徹底</p> <p>個人差があるので、認知機能のテストを強化する方が良い</p> <p>一定年齢以降、適性検査を実施する等、運転技能に問題がないか定期的にチェックする</p> <p>免許更新時や、年齢到達時の試験制度、検査制度の徹底(クリアしないと免許与えないといったもの)</p> <p>客観的に運転者として不適格だと判断されるとき</p> <p>認知症などは個人差が大きいので、医師・家族・本人の話し合いで決定すればよい</p> <p>年齢で区切るのは難しいが、強いて考えられるのは80才が一つの目安かも</p> <p>安全運転に支障が出た場合、家族に止めてもらうようにしている</p> <p>本人の自覚、年齢で線引きは難しい。バス停遠い。江部乙なので車にかわる乗り物、買い物バス。</p> |

12 目につく自転車の交通マナーの悪さは次のどれですか。

| | 記 述 内 容 |
|-----|---|
| その他 | <p>冬季間の自転車運転は歩行者・自動車運転手から見て危険に感じる</p> <p>冬にノーマルタイヤで自転車に乗っている高齢者や、夏でもふらふらしながら乗っている高齢者を割と見かける。</p> <p>朝に高校生にひかれそうになったことが数回あります。</p> <p>高校生の通学時、歩道を隊列をなして走行し、歩いている人が危険になる</p> <p>前後左右確認せず、車道横断、逆走、ななめに交差点進入</p> <p>携帯電話・イヤホンをしたまま運転</p> <p>年配の人は道路の真ん中を走るのを多々見た。</p> |

17 目につく歩行者の交通マナーの悪さは次のどれですか。

| | 記 述 内 容 |
|-----|---------------------------------|
| その他 | 信号がない場所での無理な横断（高齢者・渡り切れていない） |
| | 急な飛び出し、確認をしないでの横断など自己の危険を顧みない行動 |
| | 歩道で道幅いっぱい広がって歩く |
| | 歩行中の喫煙 |
| | スマホを見ながらの歩行 |
| | 横断歩道をダラダラと歩く中高年を時々見かける。 |

18 生活道路における安全確保についてお聞きします。歩行者や自転車利用者が普段の生活において利用する道路（通学路を含む）において、危険を感じたその内容となるべく詳しい場所を教えてください。

| | 記 述 内 容 |
|-----------|-------------------------------------|
| スピード超過 | 一時停止無視（停止線超過）による歩道への飛び出し |
| 交通量 | 国道（12号二の坂～滝の川間） |
| | 国道451啓南通り |
| 積雪時見通しが悪い | 積雪時の交差点は全て危険を感じます |
| | 国道と市道、道道と市道との交差点 |
| | 国道（12号二の坂～滝の川間） |
| | 見晴公園の角 |
| | 栄町1-6と2-6の間、花月町2と3の国道 |
| | 東町ツルハドラッグ交差点 |
| | 市道から国道に出る交差点 |
| | 大町 |
| | 扇町バス通り（3丁目、2丁目） |
| | 上田コンクリートの裏の道路 |
| | 国道以外 |
| 積雪時道幅が狭い | 東2号道路他通学路全般、防護柵が無いのは除排雪の邪魔になるから？ |
| | 市内全域 |
| | 泉町 |
| | 開西中付近 |
| | 高校通 |
| | 滝川市西町開西中学校周辺 |
| | 江部乙支所から江南団地方面の道路（主に団地住民が道路上に除雪の雪捨て） |
| | 国道以外 |
| 夜間に暗い | 官庁通り |
| | 滝川市全体 |
| 歩道がない | 自動車の一時停止無視 |
| | 泉町 |
| | 明神町リビングナカジマ側の歩道橋、誰も利用していない。横断歩道必要。 |
| 路上駐車 | 深夜、東6～7丁目の東1号通の複数台によるトレーラーの路上駐車。 |
| その他 | 坂道などで小学生とぶつかりそうになる。 |

18 生活道路における安全確保についてお聞きします。歩行者や自転車利用者が普段の生活において利用する道路（通学路を含む）において、危険を感じたその内容となるべく詳しい場所を教えてください。

| | 記 述 内 容 |
|-----|--|
| その他 | 東町、バイクの暴走がうるさい。 |
| | 住民が雪を道路にだしたりするので道幅がせまいうえに交差点が見づらい。 |
| | 一時停止（西町、西高付近） |
| | 音もなく、相当なスピードで走行する自転車に追い越されたとき |
| | 東町、バイクの暴走がうるさい。 |
| | 高沢刈物建物のある交差点（建物に面している歩道）において駅側から来る自転車と駅側へ向かう自転車がぶつかりそうになる。 |
| | イオンからの車がイースタウン、auの交差点で、休日信号待ちで、交通障害が起きている。 |
| | 歩道上の自転車走行（国道12号線、一の坂から二の坂の間） |
| | 小・中・高各学校周辺通学自転車 |

21 交通安全教育を効果的に推進するには、どのような教育が効果的と考えますか。

| | 記 述 内 容 |
|-----|--|
| その他 | 罰がないと繰り返す人間が違反をしているので職場等でも罰則を設けるべき。 |
| | 免許更新時 |
| | 子供の頃に教育を受けるのが重要 |
| | 子供が一番危険な自動車運転をしないので、交通安全教育の効果には懐疑的。 |
| | 町内会等の会合、老人クラブの会合等での教育 |
| | 町内会で警察署交通課に講習を依頼した。しかし、効果については疑問を持っています。 |

22 交通安全に関する取組としてどのようなことを実施していますか。

| | 記 述 内 容 |
|-----|----------------------------------|
| その他 | 朝、車を運転する際の「気を付けて」の声掛け |
| | スピード違反で捕まらないような速度で不安なく走るようにしている。 |
| | セーフティラリーへの参加 |
| | 近所の子供たちに車に近づかないように注意している。 |
| | テレビのニュースを観て話す。 |
| | 定期的に会社から交通安全のリーフレットを配布される。 |

23①高齢者に対する交通安全対策について

| 記 述 内 容 |
|---|
| 免許更新の基準を厳しくしたほうがよいと思います。 |
| 高齢者を対象とした交通安全指導を市が主催で実施、市内を巡回し、少し危険を感じたら声かけ等、呼びかけ。 |
| 公共交通やコミュニティバスの運用、自動車がなくても生活に支障のない交通社会を形成後に自動車運転免許の返納の運動を促進。 |
| 車自体の性能が大幅に向上して、自動運転の性能、自動ブレーキシステムが全車搭載されるなど、社会全体として変わらないと難しい。 |
| 高齢者の免許返納に係る取り組みの推進・公共交通機関を利用する方への補助制度など |
| 身体的能力の低下を認識しておらず、無理な車道横断をするのが気になる。 |
| 交通安全教室の開催 |
| 一定のノルマ、試験をクリアしない高齢者には運転させない方がよい |
| DVD等利用した事故等の恐怖を実感してもらおうとよい。 |
| 町連協、市老連等団体に交通安全についての講話と事故現場の状況を映像で映し検証。 |
| 高齢運転者への再教育の強化。対象年齢の引き下げ。 |
| 免許返納を促すため、市内バス等の無料バスやタクシー無料（割引）チケットの配布、乗り合い買い物車両の巡回整備等を行い、高齢者の無理な運転を防止。 |
| 高齢者が出入りすることが多い公共施設や病院等での安全啓発や周辺で無謀な運転を行っている高齢者に免許の返納を促すといったことを行っては。 |
| 病院受診（認知機能検査）、教習所で講習、高齢者の家族にも連絡する等の方法で、運転をやめる方向への取り組みが必要。 |
| 免許の返納年齢を76歳以上にする。年1回適性検査を実施する。 |
| 市のLINEから危険動画の配信 |
| 運転経歴証明書(?)とマイナンバーカードとか敬老乗車証の何らかリンクはできないか。 |
| 地域の幼稚園、保育所、小学校低学年から交通マナーを訴えるメッセージカードを届け、呼びかける。 |
| 散歩、買物等目的地に対して、信号を渡り目的地へ行く。 |
| 高齢者のみならず、免許取得時及び更新時の検査等の対応を上げる。 |
| もっと厳しく運転免許証の更新時にふるいにかけるべき。 |
| 反射材の無料配布 |
| 昨年自動車学校で市老連主催の交通安全技能研修を受けた。楽しかった。地域や団体、職場にも受講要請をしては？ |
| 65歳以上になったら免許を返納したほうがよいと思います。 |

23②生活道路（通学路含む）について

| 記 述 内 容 |
|---|
| 雪を道路に出させないようにしてほしい |
| 危険な道路をピックアップし、なにかしらの形で宣伝していく取り組み。 |
| 小学生によるヒヤリハットマップの作成を年に1回程度実施し、定期的に通学路を点検する制度を創設する。 |
| 本当に歩道を必要する場所の選定を行い道路整備の実施 |
| ボランティア等も含めて、見守る人間（注意指導する）を配置、その場で指導を行い違反はだめだという認識を植え付ける。 |
| 通学路で並走運転や無謀なスピードで走る高校生が乗っている自転車が多く見受けられます。交通指導の実施。 |
| 通学路の灯りをLEDにする。また、歩道の凸凹がひどい箇所から整備する。 |
| 冬場の除排雪の徹底、街路樹の下枝処理、個人宅の塀など、見通し確認のできる環境が必要と考えます。 |
| 冬期間の落雪に対する注意喚起 |
| 路上駐車を何とかすべき。運転者の飛び出し危険予測運転にも限界がある。 |
| 小中高校生の自転車、歩行者に関するマナーの悪さには辟易とする。 |
| 通学路では特に減速が徹底されるよう、速度制限の見直しや一方通行化も必要。 |
| 春から夏にかけて自転車の交通ゾーン（白線の内側）の砂利やガラス片が多く、歩道に自転車が多く通る。幹線道路と通学路の道路清掃を望みます。 |

23②生活道路（通学路含む）について

| 記 述 内 容 |
|---|
| 冬道除排雪の徹底と悪質な車道への排雪に対するの処罰。地域の除排雪への補助。（10件以上の固まった住宅の除排雪に補助をするなど） |
| 運転席の比較的低い車両目線での交差点除排雪、歩道除雪後に車道除雪を行う際、歩道部に雪を残さない、一時停止無視する運転者対策（厳しい取り締まり） |
| 歩道に注意喚起マーク、歩道に注意喚起の動画QRコード |
| 危険な道路の洗い出しとガードレール設置の検討 |
| 通学路における保護者の自動車（送迎用）が多い。保護者に対する指導啓発が必要。 |
| 見晴公園の通学路脇に植えてある杉の木枝が広がり見通しが悪い。市土木課にせん定をお願いしているが未処理です。 |
| 冬の通学路は、車道に出ることが多いので、細い道でもいいので、車道を歩かないような対策を。 |
| 歩道の幅が狭い所やコンクリートが壊れているところがある。すぐに対応できないと思うが、事故やけがのないようにしていきたい。 |
| スクールバスの活用など促進してはどうか。 |
| 交通事故が発生しそうな場所について、アンケートを取り現地調査をし、安全対策を講じる。特に通学路を優先して進める。 |
| 交通指導員を増やす。制服を着た大人がいると歩行者も車も気をつける。父兄も安心する。 |
| 自転車で交差点を渡るとしたら車が出てくる事があるのでこわいです。（アジアスポーツ前） |
| 小学生の登校する道が自転車・自動車がたくさん通る道のため危険 |

23③自転車の安全利用について

| 記 述 内 容 |
|--|
| 路側帯を走ろうにも、整備されていない（狭かったり、ガタガタ）ので結構困ります。 |
| 中高生に多いのは携帯やイヤホンを使用しながらの走行。市内の中学校・高校へながら運転防止として、パンフレットの配布。 |
| 官公庁職員等の自転車通勤者に対し、北海道自転車条例の徹底を実施。また、条例に罰則を設ける。小中学校に自転車通学分のヘルメットを用意し学生に貸与する。 |
| 自転車専用レーンの検討、マナーの向上 |
| 自転車保険への加入促進支援 |
| 高校生の自転車通学時にて、一時停止線で止まらずに車が急停止しているところを見かける。子どもたちへの教育がもう少し必要と感じる。 |
| 朝夕は歩道を並んで運転している自転車が多いと感じています。高校での注意の徹底を。 |
| 冬季間の高齢者の自転車走行は原則使用させないで、バス利用を促す取り組み。 |
| 高齢者の自転車運転を免許制にする。 |
| 自動車免許取得のような交通ルール講習を教室で行う。自動車学校と連携したシミュレーターなどの活用。 |
| 若者（中学生・高校生）速度が速い。通学時高校生の自転車右側通行が目につく。 |
| 小・中・高での徹底指導。成人には、道路での徹底指導。 |
| 警察官や市交通指導員が注意、声掛けする。注意を受けると気をつけるようになる。（一般人が注意しても反感をかう。） |
| カギを2個とライトをつける！ |

23④交通安全運動「旗の波」について（年4回実施）

| 記 述 内 容 |
|---|
| 朝又は昼の限定的な時間よりも、期間を設けて通常時より多めに設置する方が、人の目につく機会が多くなると思う。 |
| 旗の波運動はほんとに効果的なのか疑問を感じる。 |
| 小・中学生にも旗の波運動に参加させ、交通安全の意識を根付かせていくというのはどうでしょうか。 |
| ほとんど効果がないの止めるべきである。黄色い旗が大量に翻ることが、かえって視線移動の元で危険。 |
| 所定の場所でなくとも、それぞれの店舗前での旗の波参加も時期に応じて認めてはどうか。 |
| 啓蒙啓発には役立っていると思う。デジタル社会における啓蒙啓発の取り組み(手法の工夫)は遅れていると思う。 |

23④交通安全運動「旗の波」について（年4回実施）

| 記 述 内 容 |
|--|
| ドライバーのわき見運転、事故を誘発する。警察官やパトカー立たせた方がよほど効果が高い。 |
| 北海道民が、全国の運動時期と合わせて、酷寒の中立たされるのはつらい。 |
| 実施箇所を増やすこと |
| 毎回旗の波運動に参加しているが、参加者が非常に少ない。老人クラブの会員に参加を呼び掛けているが難しい。 |
| 回数的には良いと思います。実施場所が北洋銀行前だけではなく、春夏秋冬で場所を変えては。 |
| 地域の認知が少ない |
| <small>令和3年夏多くの市職員が庁舎前に並んでいた。長い間北洋銀行前に市民が参加していた。今回は寂しい限り。あの光景を思うと参加意欲は湧きません。早晩消滅すると思います。</small> |
| パトカーによる取り締まりは良いが、国道12号明神町付近の取り締まりに集中している気がする。 |
| 邪魔なので場所を変えるべきだ。 |
| やはり目につくというか、あっ交通安全期間かっ！と認識しますので、啓発という意味で大変有効かと思います。 |
| 続けてほしい。 |
| 意識を高めるためにもより多くの参加を促す方策を。 |

23⑤その他全般について（危険箇所など）

| 記 述 内 容 |
|--|
| ハード面での予防よりも、歩行者を優先する意識改革を長期間行うことが有効。自動車優先の時代は終了している。 |
| 江部乙の黄色点滅信号の交差点 |
| 夜間の明かりが少ない。夜間、ウォーキングをしている人を見かけるが国道沿い以外は暗く、そもそも足元が暗くて危険。 |
| 警察は、騒音などの迷惑車両は見逃すのに、取り締まりやすい相手ばかりをターゲットにしているように感じます。 |
| <small>冬道の安全確保が重要。悪質な道路への雪捨ては、ゴミの廃棄同様処対応に。急に道幅が狭くなる主要道路（バイパス東町6、7丁目付近など）は特に危険を感じる。</small> |
| 大型車両はやむを得ないが、左右折時のふくらみもあおり運転であることを認識させる（警察による指導等） |
| 止まれ標識を電柱に取り付けている箇所があるが見えづらいように思います。 |
| 東小の下のチョッチャン橋（しれにあこ線橋と思われる（事務局加筆））のところにガードポールがあるといい。 |
| 冬季間R38押しボタン信号の周りの除排雪の徹底をしてほしい。（学校周り、明苑中、三小等） |
| 不審者の情報共有。 |
| 高校通り、特に滝高生の自転車通学生生徒のマナーの悪さ、スピードを出して乗っているため危険を感じる。 |
| <small>積雪時、交差点だけでなく生活道路から国道、市道に出るときの見通しが悪い。除雪時に「角」を切ってほしい。車の頭出して危険です。</small> |
| ハザードマップ作成・配布 |